

# 事業計画の概要

## ■事業の全体計画

事業者が排出する一般廃棄物及び産業廃棄物の収集運搬、病院等から排出され特別理産業廃棄物の収集運搬、また、産業廃棄物の中間処理及び再資源化事業を行っております。

現在、地球環境においては資源開発が転換期を向かえ、さまざまな廃棄物の再利用が当然のこととして求められるようになり、人間社会と自然との調和、社会環境の整備が、大きなテーマとなっています。「人が誰でも幸せを追求する真理に対し、仕事を通して、正しく、明るく、豊かな社会づくりに貢献する」という経営理念の実現により、社会の下支えとして貢献することを目指しております。

## ■収集運搬業

### 1. 取り扱う産業廃棄物の種類

燃え殻、汚泥、廃油（焼却可能なものに限る）、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙屑、木屑、繊維屑、動植物性残さ、ゴム屑、金属屑、ガラス・コンクリート・陶磁器屑、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）（水銀使用製品産業廃棄物を含む）  
特別管理産業廃棄物、廃油（揮発油類、灯油類、軽油類）、廃酸（pH2.0以下のもの）  
廃アルカリ（pH12.5以上のもの）、感染性廃棄物、特定有害産業廃棄物（廃石綿等）

### 2. 予定計画運搬量

廃プラスチック類	1800 t /年
紙屑	200 t /年
木屑	90 t /年
繊維屑	1 t /年
金属屑	300 t /年
ガラス・コンクリート・陶磁器屑	10 t /年
特別管理産業廃棄物	
感染性廃棄物	1300 t /年

### 3. 取り扱う容器の種類

パッカー車、コンテナ、3 t 平ボデー車、2 t 保冷車など

### 4. 車両の用途

取り扱う産業廃棄物の種類、品目、形状に応じて、適切な車両にて収集。排ガス対策として平成27年度燃費基準達成車を導入。

## 5. 事業体制

業務時間 原則 8：00～17：00

休業日 日曜日 ほか会社が定めた日

## 6. 安全管理

安全運転教育等の定期的な開催による事故防止の徹底

## 7. 環境保全措置

### ①収集運搬

#### ・飛散・流出対策

運転中の荷崩れによる廃棄物の飛散、流出、漏れを防止するため、シート及びロープ掛けを確実に行う。

#### ・悪臭対策

取り扱う産業廃棄物の種類、品目、形状に応じて適切な容器を使用して、悪臭の漏洩を防止する。

#### ・その他

毎日の洗車を徹底し、車両を清潔に保つ。

### ②積替・保管施設

#### ・飛散・流出対策

取り扱う産業廃棄物の種類、品目、形状に応じて適切な車両及び容器を使用して、廃棄物の飛散、流出、漏れを防止する。

#### ・緊急事態への対応

地震、火災、台風等を想定し、火災対応訓練や地震対応訓練を定期的に行っている。

## 8. 認証・資格等

ISO14001取得 2005年 葛飾リサイクルセンター・足立事業所

産業廃棄物処分課程修了者 4名／産業廃棄物収集運搬課程修了者 7名

主任計量者 7名／一般廃棄物処理業許可講習（東京23区） 2名

特別管理産業廃棄物管理責任者 3名／環境保全管理資格者 0名

冷媒回収技術者 2名／遺品整理士 2名

## ■中間処理業

### 1. 取り扱う産業廃棄物の種類

- ・破砕に係るもの

廃プラスチック類、紙屑、木屑、繊維屑、ゴム屑、金属屑、ガラス・コンクリート・陶磁器屑（水銀使用製品産業廃棄物を含む）

- ・圧縮に係るもの

金属屑（空き缶に限る）

### 2. 予定計画処理量

廃プラスチック類	1850 t /年
紙屑	0.5 t /年
木屑	90 t /年
繊維屑	0.5 t /年
金属屑	0.5 t /年
ガラス・コンクリート・陶磁器屑	10 t /年

### 3. 中間処理施設の概要

受入廃棄物を分別の上、破砕し、有価物もしくは最終処分場へ運搬する。

### 4. 事業体制

業務時間 原則 8：00～17：00 稼働時間8時間 休憩1時間 清掃30分

休業日 日曜日 ほかに会社が定めた日

### 5. 環境保全措置

- ・流出対策

雨水とは別にU字溝を設け集水し、排水処理している。

- ・悪臭・害虫対策

消臭剤自動噴霧脱臭装置を設置

- ・騒音・振動対策

破砕機使用時はシャッターを閉めて作業を行っている。

### 6. 認証・資格等

上記、収集運搬業と同じ

### 7. その他

ISO14001による継続的な取組を行い、環境関連法令の順守、安全教育・緊急事態への対応等を計画的に実施していくことで、環境保全の維持向上に努めています。

※2023年6月1日現在

株式会社環境整備